



青森市の民話「善知鳥安方」のアニメーション上映会が開催されました

一般社団法人日本昔ばなし協会と日本財団が主催する「海の民話のまちプロジェクト」によって、この程、青森市が舞台となった海の民話「善知鳥安方」のアニメーションが完成しました。「善知鳥安方」は、青森市安方にある「善知鳥神社」の発祥にまつわる民話です。また、令和7年2月14日（金）学区内に善知鳥神社がある青森市立長島小学校において、「海の民話のまち」に本市を認定する認定証が授与されるとともに、全校児童や保護者を対象としたアニメーションの上映会が開催されました。

上映会終了後には、6年生の児童を対象として、文化遺産課職員による海と縄文時代をクイズ形式で学ぶ講座のほか、「善知鳥安方」に登場する鳥「善知鳥」を模した「ウトウ形土偶」を粘土で制作するフィールドワークが行われました。

「善知鳥安方」のアニメーションは、右記QRコード、または下記アドレスから視聴できますのでご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=Frh16YoRWM4>



「地元の縄文再発見フェアinとうせい」が開催されました

令和6年12月21日～22日に青森県総合社会教育センターにおいて、「地元の縄文再発見フェアinとうせい」が青森県埋蔵文化財調査センターと当委員会の共催で開催されました。

本フェアは、県内に多数存在し、身近にある縄文時代の遺跡を「地元の縄文」と名付け、その価値や魅力をわかりやすく伝えるため、県内各地域で開催され、今回、青森市で東青地域のフェア開催となりました。フェアでは、東青地域の市町村から出土した遺物の展示会、体験学習会のほか、地元の考古学研究者を中心とした講演会・シンポジウムが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



ワークショップの様子

「考古学教室 楽しく学ぶ縄文時代の埋葬」を開催！

令和6年10月26日に「考古学教室 楽しく学ぶ縄文時代の埋葬」を縄文の学び舎・小牧野館において開催しました。考古学教室は、昨年に引き続きの開催です。

当日は、前半に縄文時代の埋葬方法や副葬品をテーマとした文化遺産課職員による講座を行い、その後、縄文時代後期前半の薬師前遺跡から出土したイノシシの牙製品をモデルにしたアクセサリー製作体験が行われました。



考古学教室の様子

遺跡を大切に

青森市内では、現在までに440カ所の遺跡が見つかっています。遺跡は、地下に埋もれているため、現在確認されていない場所でも新たに遺跡が発見されることがあります。

住宅等の建築や、地面を掘削するような工事を行う場合には、計画の早い段階で計画地における遺跡の有無について照会してください。

【問合せ】 青森市教育委員会事務局文化遺産課

青森市大字野沢字沢部108-3 縄文の学び舎・小牧野館2階 TEL017-718-1392 FAX017-718-1394